２０２２年5月17日

**GMAC４月度　代表者会議議事録**

〇開催日時：2022年4月28日（木）　10：00～12：00

〇場所：ゴルフダイジェスト社　　４F会議室

〇出席者：NGK（大石）、　PGS（林、中村）JGRA（横山、新井）、　JGGA（新居）、　JGJA（小川、嶋崎）、有識者（木村）、有識者（喜田）、スポーツ庁（本田）、リクルート（佐藤）

〇議事録：JGRA　新井

〇議事進行：嶋崎（事務局長）

1. 開会挨拶（横山委員長）

GMACセミナーご協力いただきましてありがとうございました。

セミナーの評判も多くの方々から聞いております。

今年も引き続きセミナー活動を含めGMAC活動を行っていきたい。

各団体も新しい期になり体制、活動を含め情報共有を図りたい。

コロナは収束に向かっています。ウイズコロナの活動に代わってきている。

業界団体として活動できたらと思います。

各団体からの新しい企画等あれば報告していただきたい。

２．各団体からの報告

　①JGRA（新井）

　１）関東地区3月入場者数値

　・利用者平均（対前年比）　102.3％と若干上回る。

　　3月はまん延防止法が解除されてからは平日の夜間の集客が減少、土日は大きな変化がない。

　　昨年3月の来場者が好調だった影響もある。2月よりは上向く。

　・利用者数報告39施設の内、対前年を上回った施設は約半数20施設（51％）

　・関東ボール売上は対前年比102.1％と若干上回る。

　・関西ボール売上は対前年比104.5％と上回る。

　２）一般ゴルファーが望む練習場レポート

　・ジャパンゴルフフェア２０２２で650名のアンケートを回収し分析した。

　・年齢、性別、職業、ゴルフ練習場はどこに行かれますか等12項目を調査した。

　・ゴルフ練習場を利用する理由に対しゴルフ上達の為が一番多い。

ゴルフスコアはどのくらいですかに対し90台が一番多く、次に100台、80台と続いた。

　　アンケートからゴルフレッスンの需要はまだ高いと感じた。

　・ゴルフ練習場にあったらいいなと思うものは弾道測定器が一番高い。

　・もう少しこのレポートのデータをクロス分析したら面白い資料になる。（喜田）

　　用品業界と連携できるようにしてほしい。（横山委員長）

➁JGGA（新居）

　１）ジャパンゴルフフェア2022報告

　・関係団体にご協力いただきジャパンゴルフフェア2022は開催できお礼を申し上げます。

　　コロナ感染対策を強化し今年度より一般来場者は有料化された。

　・日時3月11日～13日　　パシフィコ横浜　（16000㎡）

　・来場者合計　31,479名　（昨年比144％）

　　＊一般来場者　　　　4,608名

　　＊ビジネス関係者　　26,397名　（一般来場者が多く含んでいる）

　　＊報道関係者　　　　474名

　・男女比　男性78.2％（昨年86％）、女性21.8％（昨年14％）と女性が伸びた。

　・年代別

　　＊30代以下　26.4％　（昨年21.1％）

　　＊40代　　　28.3％　（昨年25.7％）

　　＊50代　　　33.2％　（昨年37.7％）

　　＊60代以上　12.1％　（昨年15.9％）　　50代が減少した

　・出展者数　１４５社（昨年比124％）、コマ数338コマ（昨年比132％）

　・来場者減少対策

　　➀物販強化　今年度Ⅰ5百万　（昨年7百万）

　　➁初心者コーナーの設置　（ファッションショーの開催）

　　③業界SDGsの紹介

　　④BtoBの強化

　・来年度は3/10～3/12に開催する。　（パシフィコ横浜）

　２）JGGA　ウイメンズゴルフJGGAカップ

㏌紫カントリークラブあやめ３６（女性限定コンペ）を6/7（火）に開催する。

　・当初はウイメンズゴルフディ（6月の第1火曜日）として開催する予定だったが登録は行わない。

　　世界ウイメンズゴルフの規則はゴルフプレーの場合（午前ハーフ競技、午後は参加者によるミーティング）になっている。

　・大会協賛企業は多数集まった。

　３）2022年JGGAペア・スクランブルゴルフ大会

　＊東日本

　・開催日7月29日（金）　坂東ゴルフクラブ（茨城県坂東市）

　・2人ペア50組　100名

　＊西日本

　・開催日6月23日　　ダンロップゴルフコース

　・2人ペア40組　80名

　＊中部

　・開催日7月26日　　ゴルフ５カントリー　みずなみコース

　・2人ペア100組　200名

➂JGJA（小川）

　＊ジャパンゴルフフェア時タウンミーティングを開催した（リアル/約50名とリモート）

　　リモートでの参加者が多かった。

　　登壇者　北谷津ゴルフガーデン　土屋社長、ゴルフパートナー新井田執行役員、

　　　　　　マクレガーゴルフジャパン松下課長、ゴルフダイジェスト・オンライン向井さん

　　　　　　進行　小川

　・矢野経済研究所三石氏より業界の最新データが発表された。

　・土屋社長から稲見プロの話や子供達がゴルフ場、練習場を身近に感じられるイベントの開催が重要

　＊JGJA理事会より

　・練習場も魅力作りが重要（行って楽しい施設）（一般来場ハードルを下げる努力）

　・シュミレーションゴルフをやってからコースを数ホールラウンドするパターンもある。

　・バーディウイング（バンダイナムコ協力）のマスコミ試写会を開催した。

　　（ユーチューブで配信している）

（見逃し配信で見る人が多い/声優の方が有名/若い方が見ている/佐藤）

ぜひ若い世代動向の情報共有をお願いしたい。（横山委員長）

　・高齢者、若年層をつなぎ留めるスローガンが必要ではないか。（合言葉）

個々で動くのではなく業界として動きたい。

➃PGS（中村）

　・4月現在全日本マチュアゴルファーズ選手権予選、準決勝を開催している。

　・5月から全日本ミッドマチュアゴルファーズ選手権の募集がスタートする。（25歳以上）

➄NGK（大石）

　・2021年度来場者（2021年3月～2022年2月速報数値）は約9000万人を少しかける位

伸びている。（2月降雪の影響あり9000万人の大台を割った）

　・ゴルフ場は1場平均来場者37千人入場すればほぼ60％が黒字化すると言われ、今回平均4万人と増えたためほぼ黒字化ではないか。（コロナ禍のバブル）

・近隣の子供達にゴルフ場で遊んでもらう。若い方にゴルフ場を知ってもらう（見学）。

ジュニアにゴルフさせる動きからゴルフを知ってもらおうと言う動きが業界に出ている。

大変良い方向と思える。

以前はジュニアにゴルフをさせようとした動きでスクールでは中々増えない。

・ゴルフの普及活動には大変良い方向に動いていると思われる。

　継続して動かなければならない。

・業界全体で目標を定める、ビジョンを作って未来に向けて全員で行う必要と思われる。

（大石、喜田）

　・2030年に向けて方向性を持つ、ゴルフを楽しむ人を増やす。（喜田）

　・市原氏の例としてゴルフ場と小学校が提携してゴルフ場を知ってもらっている。（嶋崎）

・ウイメンズゴルフディは以前サミット会議で提案したが動きは無かった。（大石）

・公益財団法人土地緑化機構からゴルフ場の土壌炭素の変動量について今後発表されると

説明があった。

　ゴルフ界のベーシックな活動になるため発表されたら紹介したい。（大石）

⑥スポーツ庁（本田）

・スポーツ実施状況の世論調査のローデータが3月HPに発表になった。

・ゴルフ人口の数値を590万人に修正した。（喜田）

➆メディア広報部会（木村）

・HPがリニューアルになり、GMACセミナー等掲載している。

　各団体からの情報をお願いしたい。

・インスタグラムのアカウントを更新したので情報提供お願いしたい。

・GMACのHPは歴史があり検索上位にくるため更新することで注目される。

⑧ゴルマジ（佐藤）

　　ゴルマジ９期が４月スタートし、状況報告がされた。

　１）参加施設数

　・練習場７１施設（新規１/JGRAのチラシより）

　・ゴルフ場２８施設

　２）変更点

　・会員登録方法の変更（一度会員登録すると対象年齢の期間終了まで会員期間が継続）

　・海マジ、お湯マジ対象年齢が変更（１９歳～２２歳）によりゴルマジを訴求し易くなった。

　３）ゴルマジ会員数、利用回数他

　・新規会員登録数　946人　　累計16,480人

　・4/27時点での利用回数　1,205回　（2019年度4月末51回）20年、21年は未実施

　４）2021年度ゴルマジ　実施報告（まとめ）

　　各関係団体の協力で活動を行った。

　・施設数（練習場83、ゴルフ場38）

　・会員数　　27,555人　昨年比149％となりゴルフに興味関心のある層が増えた。

　・利用回数　27,973回　（昨年比113％）

　　＊6月から利用開始し8月頃より利用者が増加。

　　＊練習場20,875回、ゴルフ場6,889回

　　＊練習場利用数は施設数が減少したため利用者数が減少。（2020年22,193回）

　　　練習場の確保が重要。

　　＊ゴルフ場利用数は大幅に増加（2020年2594名）

　　　練習場からゴルフ場までプレーする層が獲得できた。

　５）今後の活動、他

　・マジ☆部の認知度向上（YouTube、Instagram、TicTok）

　　若い人はYouTubeを見ている

・九州エリアの強化　（認知度が低い）

　　施設数の開拓

　・利用回数の多い施設はアクセスが良いところに集中している。

⑨Gちゃれ（北代理　大石）

　・３月Gちゃれが開催された。（目白大学）

　　GMG八王子ゴルフ場、八王子カントリークラブ

　・長崎県で２回目のGちゃれが開催された（長崎国際大学）

　　アコーディアゴルフハウステンボスカントリークラブ

　　多くのアコーディア関係者の方々にサポート頂いた。（産学連携）

　・2021年度は2020年度に比べて開催数は回復傾向だが、大学の多くが学外活動を禁じたため中止の

　　Gちゃれがあり参加者は減少した。

青森県や長崎県の大学でも定着し今後の広がりが期待できる。

３．今年のGMAC活動について横山委員長より説明があった。

　１）活動方針

　①各部会活動の継続

　②ゴルフサミット会議が変化。市場活性化についてGMAC、JGAゴルフ振興本部とで連携できるように検討する。

　③民間企業との連携

　④調査研究の継続（３月のフェアで出したゴルフマーケットデータ継続発信）

　　行政機関、情報発信強化

＊各部会（事業推進部会、企業連携・交流部会、市場調査研究部会、メディア広報部会）

　　で活動を継続し、秋に中間報告セミナー、３月にセミナーを開催して行きたい。

４．ジャパンゴルフフェア時のセミナーアンケート結果報告、他　（嶋崎）

　・GMACの活動としてセミナーの評価が高い。

　・各セミナー報告、パネルディスカッションが高かった。

　・資料配布の評価が高い（ゴルフ業界のデータ配信）

　・定期的に開催してほしいの要望が高い。

　・情報発信を多くの方々が望んでいる。

　・セミナー参加者は多かった。

　・この結果から秋にセミナーが開催できれば良い。

　・GMACとして３年後、５年後の目標、ビジョンを作りたい、企業の中期計画と同様に（喜田）

・ゴルフ場、練習場、用品業界が一緒になって世の中に発信を考えるべきではないか（大石）

・目標づくりについてどのように取りまとめれば良いか検討してほしい（横山委員長）

○今後のGMAC日程

・５月2７日（金）　１０時～　ゴルフダイジェスト社　　　会議室

・６月１７日（金）　１０時～　ゴルフダイジェスト社　　　会議室

以上